学生の考える「主体的、対話的で深い学び」（第4回　解答）

Ａ

主体的・対話的で深い学び、アクティブラーニングは、これからの教育現場で重要視されており、私も他大学の入試の面接試験として対策を練った際、かなり頭を悩まされ苦労したものであり、担当の先生も「ちょっと難しい問題だからあまり出ないかも」とのことで、やはり本番でも出題されなかった。出なくて安心はしたものの教師を目指す身である以上、しっかり知っておかなくてはならないと思っていた。

　まずはざっくり、主体的な学びとは、学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学びである。対話的な学びとは、子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えることを通じ、自己の考えを広げ深める学びであり、深い学びとは、習得・活用・探求という学びの過程のなかで、各教科などの特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学びである。『主体的・対話的で深い学び』は、これらの３つの学びを合わせたものになるのだが、かなり抽象的でわかりにくい。

　アクティブラーニングといわれると、討論や対話といった学習活動ばかりに引っ張られてしまいがちだが、これらばかりではなく、基礎も怠らないことが重要である。

　今回の講義を通して、私は、『主体的・対話的で深い学び』とは、自らが進んで学び、周りのみんなと協力して、新しい課題に気づき解決していく学びだと考えた。先生も述べていたように、アクティブラーニングには、抽象度が高いが故のかなりの自由度がある。この自由度を授業編成で生かせるか生かせないかが教師の力量の差になってくると思うので、クラス・児童に合わせて授業を考えられるようになりたい。

　溝上慎一氏が述べられていたペアワークは実用度がかなり高いので自分自身も活用していきたいと思った。

Ｂ

主体的・対話的で深い学びであるアクティブラーニングは、多くの学習活動に該当すると思います。私がその中でも代表的だと思うのは、自分の考えを多くの人と共有し否定はせずに、1つの重要な意見として知識とする活動だと思います。私が中学生や高校生の時にもそのようなアクティブラーニングが多かったイメージがあります。つまり、正解や不正解などの判断ではなく、多種多様な意見を尊重しそれから学ぶという活動です。例えば、1つの資料や課題を見てもその捉え方は十人十色です。一人ひとりの意見が重要で何が正しく、何が間違っているということはないと思います。またその意見を対話をして共有することで、自分1人では考えられなかった事柄を知ることができれば自然と視野が広がりより深い学びをすることができます。最終的には自分の中でひとつにまとまった意見を、プレゼンして伝える力をよりつける。これがアクティブラーニングの中心的な学習だと思います。

主体的に学ぶことはとても大切なことだと思います。与えられた課題をただこなすというより、自分から主体的に興味をもった事柄を追求するという行動こそが学習だと私は思います。対話的学習は、周囲の人達との協調性を養うことができると思います。学校は社会の縮図だという方々もいますが、その考え方も一理あるなと思います。大人になって社会に出て活動するには、コミュニケーション能力が少なからず必要になってくると思います。相手のことを知るために、また自分のことを知ってもらうためには言葉を通じて共有することが大切です。その力を学生のうちに身につけることはとても大切だと思いました。

人間性の成長や知識や技能の向上などのために、積極的にアクティブラーニングの活動をすることが大切だと思います。これからの時代の予測不可能な社会に順応していくために、一人ひとりの生徒のスキルを伸ばしてあげられる先生に私もなりたいなと思いました。

Ｃ

主体的な学びとは、私たちが小、中、高、と受けてきた教育の中でも先生に頼りきるのではなくて、自らがその学びついて目標をもち、理解しようとすることだと考える。例えるのならば、将来あの職業につくためには、このような資格が必要であるため、その資格について勉強をしよう、行きたい高校や大学があって偏差値が足りないからもう少しこの教科について勉強をしよう、などがあると考える。そして主体的で深い学びとは、

物事を学び、記憶し、理解し、活用や実践するというような学びであると考える。また、対話的な学びとは人間として成長するには欠かせない学びだと考える。例えば主体的な学びで知識を得たからといってもそれは自分自身の解釈や理解した内容にあるに過ぎないからだ。たとえ自分なりの理解や解釈が間違っていなかったとしても、自分の考えにパターンがなく、考え方が偏ってしまうかもしれないため、他の人と対話をし、意見交換や情報の共有をおこなうことによって新たな発見や新たな可能性を生み出し、自分の意見の妥当性の再認識や自分の意見の見直しをおこなうことができるので重要な学びであると考える。また、対話的で深い学びとは、これまで得た知識を生かして、様々な事象どうしの関連性を見つけながらも、その中でそれらを深く理解しようとすることであり、それに加えて、それらを理解した上で新たな自分の意見を持つというように、他人と関わりをもつことが必要である学びだと考える。

Ｄ

主体的に学ぶということは、学ぶことに興味や関心を持ち考えるべき物事に対して積極的に行動を起こしているかということだと思う。そもそも学ぶ意識のない主体的ではない生徒では授業からたくさんのものを得ることはできないと思う。興味があることに対して知識などを構築していくことが大切となってくる。そのために授業の中で、振り返りなどを行い主体的に取り組む状況を作る必要があるのだ。次に対話的な学びとは、生徒同士の会話、教師との会話、地域の人たちとの会話が考えることに繋がってくるというものである。さらに、人は他者と相互に関係しあい生きているのである。その中で対話は必ず必要となってくる。主体的に学んだことを他者と対話しながら理解を深めていくことがさらなる、成長につながるのである。自分の中で理解することはできても、他者に説明するというのは、その物事についてより深く理解していないとできないと感じる。インプットしたことをより深く自分の中で理解してそれを他人にアウトプットすることによっていい方向に向かうと思う。深い学びという点では、自分が持っている知識をいろいろなことと関連付けて深く理解することである。問題解決する力は、社会人になってから、最も必要な力になってくると思う。主体的、対話的より、実践的な学びであると言える。

Ｅ

私は、主体的、対話的の深い学びとは、自ら学び、生徒同士で討論をし、自ら考えるという事だと思っています。これは私もやった事がありました。１週間以内に問題を自分で考えてその１週間後にグループワークを行いみんなで討論し合って結論を出すというような事をやりました。こういう事をやる理由を自分自身で考えました。やはり問題に対して興味を持つ事をして、討論をして人との対話によりコミュニケーションを取り自分の考えが広げられ深め合える事が出来るのではないかと思います。これは生徒の思考力、判断力をたくさんあげられるのではないかではないかと思います。

主体的に考えるということは研究をしなければならないので先ほど言ったように思考力、判断力が強くなれると思っています。そして自分の調べた内容を発表を話さなければならないのでどうやって話すかと考えるのでやはり自分の思考力がつけられると思います。

私は、自ら考えて討論し合うことはこれからもっと必要になってくると思います。

Ｆ

私は「主体的・対話的で深い学び」というのは、やはりアクティブラーニングが一番に考え付きます。アクティブラーニングは生徒自身が活動をし、その活動を通して一つのテーマを学んでいくというものですが、それに加え、最近は教科横断的な内容を取り扱い、学びを広くしているというのも耳にしたことがあります。そのような意味で生徒が主体的に、深く学ぶことができると考えます。また、活動の中で話し合いや意見交換等を行うことにより、対話的という側面からも学びにアプローチすることが可能だと思います。

　さらに、深い学びについて、資料のアウトサイドイン・インサイドアウトと私の経験を踏まえて考えてみると、私は小学校、中学校時代に学校で勉強したことやそれ以外にもニュースや最近の社会についてのことを家族に説明しながら話していたのを覚えています。資料にもあったように、ある事柄について内容を理解し、自分の言葉で他者に話すということは自分自身の理解がより一層深まることに加え、自分の中で整理することもでき視界がはっきりします。現代ではSNSの発達が進み、会話が文字だけの無機質なものになりつつありますが、こういった対話も重要なのだと再認識しました。

Ｇ

私は今回の講義資料やメモを通して、第三の深い学び、溝上慎一氏のアウトサイドインとインサイドアウトという点に着目をしました。人は対話で理解を深めていくということにすごく関心をしました。

まず、主体的に学ぼうとしなければ、つまり興味関心を持って自ら学ぼうとしなければ理解をすることは難しいということ。その理解した事を、対話的につまり人に教えたり、説明をする事で理解につながるものだと考えます。しっかりと理解をしていなければ

人に説明をすることはできません。このように自分の理解を高めるために、説明をして理解をするためにペアワークなどがあると思います。

このように、自ら学ぼうとする意思と人に説明をして理解を深めることが私が思う主体的・対話的で深い学びという考えです。